

キブリナギゴケ(アオギヌゴケ 科)
Kindbergia arbuscula (Broth.) Ochyra

兵庫県: Cランク
環境省: -

種の概要

大形でかたい感じがする。一次茎ははい、二次茎は立ち上がって多くの枝を2-3回羽状に出し、樹状になる。葉は乾いても展開したままで、枝は葉を含めて幅0.5-1mm。一次茎の葉は腎臓形~半円形。二次茎の基部の葉は長さ1-1.5mm、広卵形で、先端は急に細く尖って反り返り、全周に鋭い歯がある。中肋は葉長の3/4前後または葉先に終わり、背面の先端に1個の刺がある。枝葉は小形、広卵形で短く漸尖し、鋭頭。葉身細胞は狭楕円形~線形で長さ35-45 μ m、幅3-5 μ m。莖柄は長さ20-25 μ m、全面にパピラがある。溪谷の湿った岩上に生育する。

国内分布

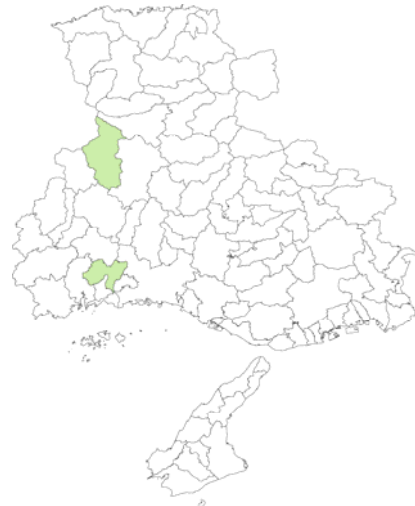
本州~九州

県内分布

波賀町、龍野市

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○



特記事項

Eurhunchium arbuscula Broth. という学名が長く使われてきた。

保護上の留意点

生育地の保全